

## ●今月号の元気な話題●

- \* 平成29年度も引き続き、全国から派遣職員の力強い応援を  
いただいております。【農業農村整備部】・・・1
- \* 第70回奉献乾（ほし）海苔品評会が開催されました【水産漁港部】・・・2
- \* 「塩釜・七ヶ浜水産加工品販売会“うまいもん市”を開催しました！  
【水産漁港部】・・・2
- \* 合同家族経営協定締結式が行われました  
【亘理農業改良普及センター】・・・3
- \* 大郷町大松沢地区に2つの農業法人が進出、立地協定を締結しました  
【農業振興部】・・・3
- \* 塩釜市魚市場新年初売りが開催されました【水産漁港部】・・・4
- \* 利府町海産物収穫祭&みやくろ鍋まつりに出展しました  
【地方振興部】・・・4
- \* 一般社団法人吉田愛林公益会が第63回竹駒産業文化賞を受賞しました  
【林業振興部】・・・5
- \* 管内で最初のサケの稚魚放流が行われました【水産漁港部】・・・5

## みやぎ水産の日 ●今月のおすすめ●

### 【ワカメ】



味噌汁やサラダなどで大活躍の  
三陸ワカメ。漢字では「若布」と  
書くのをご存じですか？  
風味豊かで柔らかいのが特徴の仙台湾  
のワカメを是非ご賞味ください！



平成29年度も引き続き、全国から派遣職員の力強い応援をいただいております。

【農業農村整備部】

**農**業農村整備部では、東日本大震災により  
甚大な被害を受けた農地・農業用施設の復旧・  
復興、ほ場の大区画化や土地利用の整序化によ  
る生産性・効率性向上に向け、全国の自治体か  
ら派遣職員の応援をいただき、日々業務に取り  
組んでおります。



現場で作業にあたる派遣職員

地方自治法に基づく職員の派遣は震災のあった平成23年から始まり、震災から7年目にあたる本年も、  
14県（山形県・栃木県・群馬県・埼玉県・神奈川県・富山県・石川県・福井県・山梨県・岐阜県・三重県・  
鳥取県・広島県・高知県）から計25名の方が応援に来ております。自治法派遣職員は津波被害が特に大き  
かった沿岸地区を中心に、農地・農業用施設や農地海岸堤防の復旧事業等に係る工事費積算や工事監督、  
または協議調整など多岐にわたり活躍しております。

自治法派遣職員の豊富な知識や経験、高い技術力を農業・農村の復旧・復興への活力に変え、一日でも早い  
復旧・復興に向けて邁進してまいります。

# 第70回奉獻乾（ほし）海苔品評会が開催されました

【水産漁港部】

毎年恒例の鹽竈（しおがま）神社奉獻乾海苔品評会の審査会が、1月5日に鹽竈神社齋館で開催されました。

この品評会は、宮城県産海苔の品質向上と生産者の意欲向上を目的に、昭和23年に第1回を開催して以来、今回で70回目の節目を迎えました。

今シーズンの海苔は、採苗・育苗とも概ね順調でしたが、生産漁場に種網を張りだした直後の10月下旬に立て続けに通過した台風の影響により、生産開始が遅れ、初入札枚数は前年の9割弱に留まりました。しかし、その後は栄養塩類が高めに推移するなど、漁場環境もよく、色つやがよい良質な海苔が多く生産されました。

審査会には、県内の生産者から101点の出品があり、厳正な審査の結果、優賞に宮城県漁協七ヶ浜支所の伊丹幸一さん、準優賞に同支所の大石顕さんが選ばれました。

表彰式は1月11日に鹽竈神社御神前において開催され、受賞者に賞状が授与されました。優賞、準優賞となった乾海苔は、2月7日に受賞者自ら皇居に赴き、皇室へ献上されました。



乾海苔の審査の様子



優賞、準優賞の乾海苔

## 「塩釜・七ヶ浜水産加工品販売会“うまいもん市”」を開催しました！

【水産漁港部】

「食」材王国みやぎ」推進の一環として、1月29日から2月2日までの5日間、宮城県庁行政庁舎1階玄関ホールにおいて「塩釜・七ヶ浜水産加工品販売会“うまいもん市”」を開催しました。塩釜市内で生産された塩辛、漬魚、海鮮せんべい、練り製品のお得な詰め合わせセット、干物職人が造る「塩竈うみおむすび」や七ヶ浜町（皇室御献上の浜）の豊かな海で育った海苔の加工品など、計11業者からのバラエティ豊かな商品が並ぶ販売会となりました。



出展者の皆様



商品を買求める多くの来庁者

今回は、開催初日にお昼や夕方のニュースで報道されたこともあり、県の職員だけでなく、来庁された多くのお客様に商品を購入いただき、塩釜・七ヶ浜地域をあまり訪れたことがない方にも、地域の特徴ある食材や地元業者の魅力を広める良い機会となりました。

# 合同家族経営協定締結式が行われました

【巨理農業改良普及センター】

平成30年1月22日(月), 名取市役所において合同家族経営協定締結式が行われました。

東日本大震災を境に、経営内容が大きく変化したため大震災以前に締結された家族経営協定を見直したいという農業者の意向を受け、昨年11月6日に、名取市農業委員会主催による研修会が開催されました。研修会では、農業改良普及センターの職員が講師となって、家族経営協定の目的やメリット、協定書をどのように作成するかなどについて助言しました。



新たに明るく楽しい農業経営への誓いをする参加者

今回の締結式には、研修会に参加した20組の経営者が参加し、参加者代表の家族が全員の前で調印し、握手を交わして協定の遵守を誓いました。締結に立ち会った来賓からは「魅力的な農業経営となるよう、家族全員で経営改善に取り組み、地域農業の発展に貢献してください」などの祝辞が述べられました。今回の締結により、名取市の家族経営協定締結数は27組となりました。

普及センターでは、家族経営協定の締結を通して、女性の経営参画を推進し、明るく楽しい農業経営をさらに発展すべく、今後も家族経営協定の取組を支援します。

## 大郷町大松沢地区に2つの農業法人が進出、立地協定を締結しました

【農業振興部】

平成30年1月11日(木), 大郷町役場において農業法人サラダボウル(山梨県中央市)の関連会社である株式会社東北アグリヒトと農業法人イグナルファーム(宮城県東松島市)の関連会社である株式会社イグナルファーム大郷の両社と大郷町との立地に関する合同協定調印式が実施されました。



調印式の様子

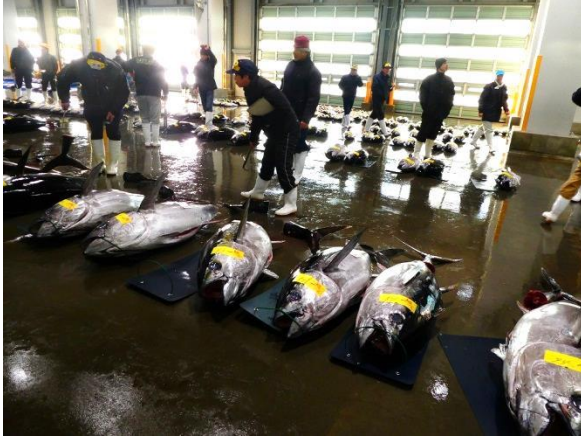
両社とも複合環境制御型施設でトマトを栽培し、施設面積は東北アグリヒトが3ha、イグナルファーム大郷が1haとなります。また、イグナルファーム大郷では露地ネギ1.5haも作付けする予定です。

今年度内から事業に着手し、平成30年度中に施設が完成予定で、生産されたトマト等は契約先の全国のスーパー等で販売されます。

皆さんもスーパー等で目にした際には是非手に取っていただき、御賞味ください。

# 塩釜市魚市場新年初売りが開催されました

【水産漁港部】



初競りの様子

1月4日に塩釜市魚市場において、毎年恒例の新年初売りが開催されました。初売り（競り）に当たり、今年一年の豊漁と海上安全を祈願し、「初売りの儀」が執り行われました。昨年10月25日に完成したばかりの真新しい荷捌き所には、高知、大分、宮崎県所属のまぐろ延縄漁船4隻が水揚げした昨年を上回る約47トンのメバチ・ビンチョウマグロなどが陳列され、金額も高値で取引されるなど、さい先の良いスタートとなりました。



初水揚げ・初競りされたマグロ

なお、昨年（H29.1～12）における塩釜市魚市場の水揚げ高は、数量で2万2千トン、金額では107億円と数量、金額ともに一昨年を上回り、県内3位の水揚げ高となっています。

今年は、新市場を最大限生かして取扱い魚種の拡大を図るなど更なる水揚げ増に努め、目標金額の120億円を突破し、塩釜地域における水産業界の発展に大きく寄与することが期待されます。

## 利府町海産物収穫祭&みやくろ鍋まつりに出展しました

【地方振興部】

利府町恒例イベントの第10回海産物収穫祭が平成30年1月21日（日）イオンモール利府の野外特設会場で開催されました。今年は初めて「みやくろ鍋まつり」が同時開催され、宮城郡、黒川郡の市町村が自慢の鍋や地場産品の販売を行いました。



利府町海産物収穫祭&  
みやくろ鍋まつり会場の様子

当日は「お楽しみ抽選会」、「市町村キャラクターとの写真撮影会」、「鍋食べ比べスタンプラリー」など様々な催し物が行われ、特に「鍋食べ比べスタンプラリー」には140名の方に参加いただき、会場内は大変賑わいました。

地方振興部でも「仙台・松島エリアPRブース」を出展し、「観光パンフレットの配架」や「仙台・松島エリア冬キャンペーン等観光PR」、「鍋食べ比べスタンプラリー参加者へのプレゼント配布」を実施しました。

# 一般社団法人吉田愛林公益会が第63回竹駒産業文化賞を受賞しました

## 【林業振興部】

**平**成29年11月24日に岩沼市の竹駒神社で開催された第63回竹駒産業文化賞の表彰式において、大和町の一般社団法人吉田愛林公益会が表彰されました。

この賞は、主に県内の第1次産業を対象に郷土の産業振興を目的とする生産技術の向上改善に貢献する個人や団体を表彰するもので、昭和30年から毎年行われております。



受賞した早坂会長（右）と  
本木事務局長（左）

吉田愛林公益会の間伐実施林



吉田愛林公益会は、大和町内の約3,000haの森林において、昭和35年から約60年の長きに渡り、植林や下刈り、適時の間伐や、作業路の開設など、模範的な林業経営を続けているほか、低花粉苗の利用、今後需要が見込まれるカラマツの再造林などの新たな事業にも積極的に取り組んでおり、今や県を代表する林業経営団体となっております。

# 管内で最初のサケの稚魚放流が行われました

【水産漁港部】

**1**月18日に名取川において、管内で最初のサケ稚魚の放流が行われました。放流された稚魚は、広瀬名取川漁業協同組合が10月中旬に採卵し、平均体重を1.0g程度まで飼育したものです。当日の名取川の水温は4℃と、この時期としては平年よりも低めでしたが、22万6千尾が元気に泳いでいきました。



名取川でのサケ稚魚放流の様子



サケ稚魚

今年度は、管内の河川でサケ親魚が遡上のピークを迎える10月下旬に台風21、22号が通過し、河川の増水により親魚を採捕する施設が壊れる被害などがありました。そのため、親魚の採捕ができず、種卵の確保に苦労しました。しかし、関係者の努力や他地区のふ化場との種卵移殖調整により、計画した収容卵数を概ね確保することができました。

管内の各ふ化場では、サケ稚魚の飼育は続いており、稚魚の放流は4月まで行われる予定となっております。

問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部（白石）  
 TEL：022-275-9140 FAX：022-275-0296 E-Mail：[sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp](mailto:sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp)  
 HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>  
 ※次号は平成30年4月下旬発行予定です。

